

## 新津福音キリスト教会 小池宏明牧師

私たち人間の愚かさは「自分で自分のことがよく分からない」ということにあります。

※「あなたは神の深さを見極められるだろうか。全能者の極みを見出せるだろうか。」（ヨブ11：7）これは、ヨブの友人がヨブの誤りを指摘した言葉です。ヨブと言う人物は、自分に起こる苦しみの意味を必死に求め続けた信仰者であります。ヨブの苦しみは、家族を犯罪や災害によって殺されたこと、自分自身が痛みの伴う皮膚病に襲われたことです。そんなヨブを慰めるために来た友人たちが、良かれと思って語った励ましや慰めの言葉が、逆にヨブを苦しめることになります。友人たちの主張は、「あなたが悪いことをしたから苦しい目に遭っているのだ」というものです。「因果応報だ」、「自業自得だ」と責めるわけです。しかし、ヨブは引き下がりません。多くの言葉でもって、自分の正しさ、潔白を主張するのです。まことにヨブは、神様の御前にあって私たちとは比較にならないほどの立派な信仰者でありました。結局、ヨブは自分の苦しみの原因を知ることは無いのです。最終的解決は、主なる神様と出会うことでした。

※このことは私たちも同じです。理由の分からない試練に遭うことがあるのです。自分に原因があって、自分の罪や失敗によって、責めを負うことはあります。しかし、ヨブの場合は、あくまでも自分は潔白だと言い張るのです。それほど、ヨブは主の御前にあって全き信仰者であったのです。ところが、自分の正しさを主張して、神のなさることを批判するのは、まことに恐ろしい傲慢の罪ではないでしょうか。実は、私自身、この言葉によって自らの傲慢さに気付かされた経験があります。聖書の言葉に正されたのです。全く愚かな自分、自分で自分のことが分かっていなかったことが明らかになりました。これはとても苦しい経験でした。完全に自分の生き方を否定させられる体験でした。

※詩人は告白します。「苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。」（詩篇119：71）誰も苦しい人生、辛い人生を望んではいませんが、時として困難が襲ってきます。それは、主に立ち返るチャンスの時です。そこに、主イエス様の導きがあるです。やがて、苦しみにあったことは私にとって幸せでしたと告白できる日が来ることを信じて、主イエス様がどのようなお方なのか、求め続け、主の深みに感動する時々を体験したいのです。